



FREXY

フレクシー

取付・取扱 説明書

ご使用前に必ずお読み

この説明書は「フレクシー」を安全に組立て、取扱うためのものです。説明書に従って組み立ててください。
 万一無視された場合、破損やけがの原因になることがあります。
 不明な点がございましたら、販売店にご相談ください。



この警告/重要マークが付く説明内容については特に注意をしてください。ただし、この説明書のその他の説明が重要ではないということではありません。

この説明書は今後、必要な時のために大切に保管してください。

＜安全のための重要な説明＞

以下の部分にご注意ください。

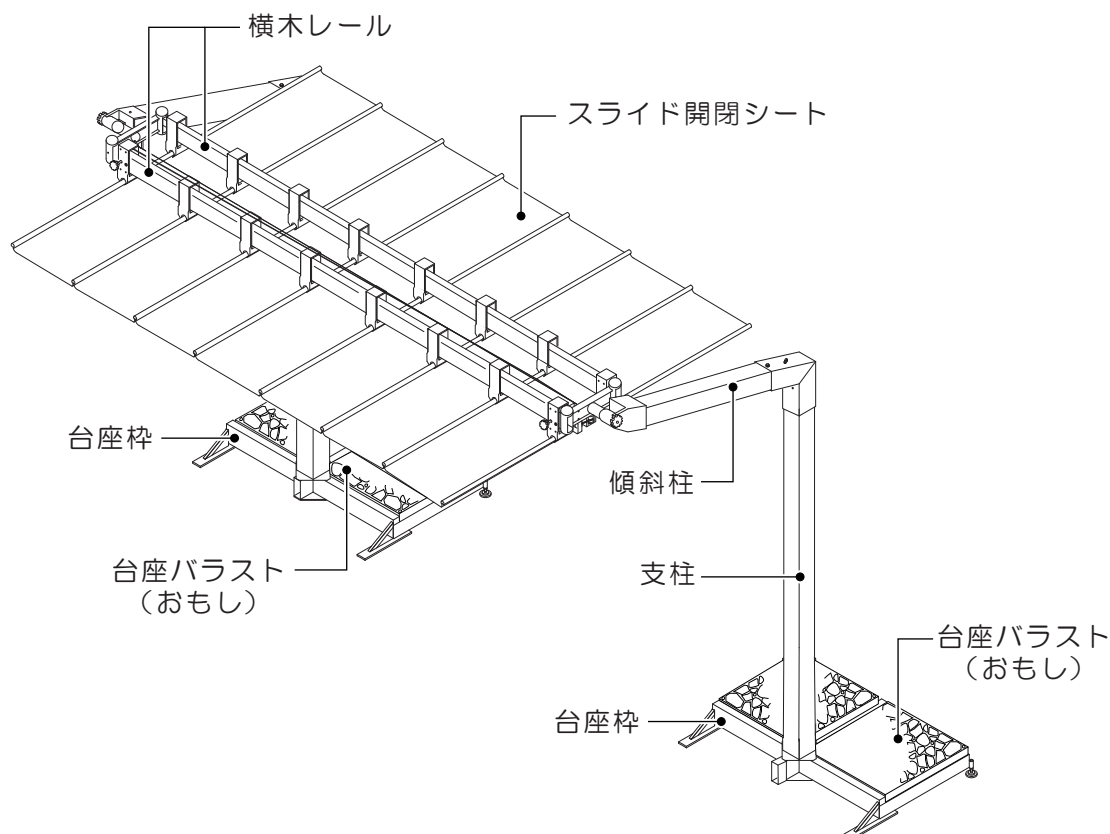
1. 説明

「フレクシー」の組立て説明内容をよく読んで施工してください。説明内容にそって「フレクシー」の組立て施工をされなかった場合、けがや破損の原因になることがあります。安全にお使いいただくために、この説明書をよく読んでお使いください。

2. 警告

この「フレクシー」は悪天候のための物ではなく、日よけ用の物です。強風・雷雨・豪雨や雪の時には、シートを閉じて専用の「保護用カバー」をかけてください。また夜間やシートを確認できない時には、常にシートを閉じて「保護用カバー」をかけてください。それぞれの台座には指定枚数のバラスト(石などのおもし)、または最低150kgで安定させてください。

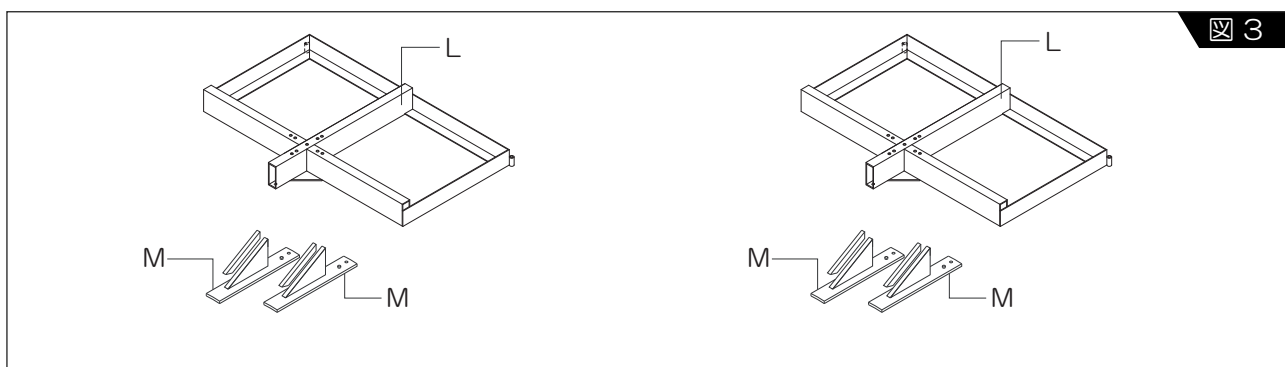
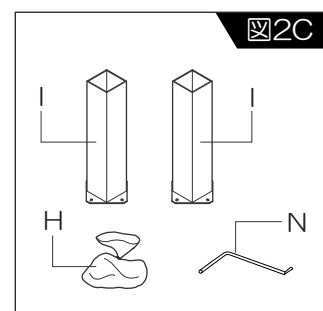
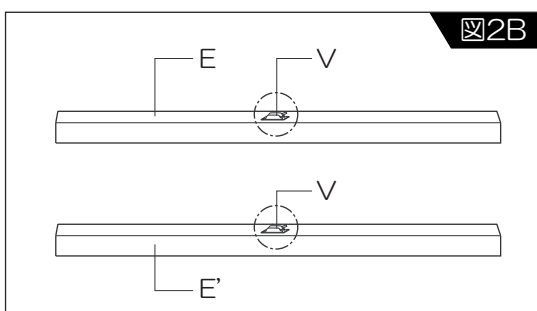
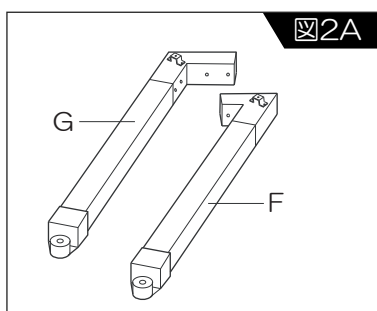
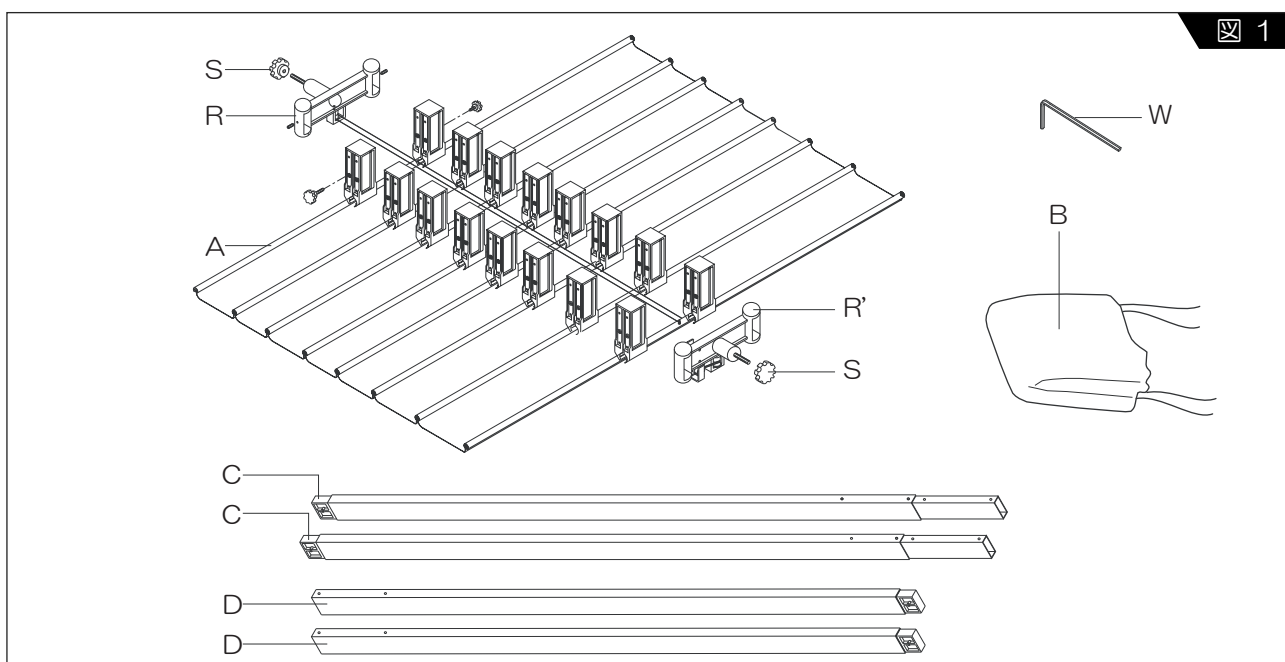
姿 図



< 組立て説明書 >

構成部品 (図1、図2A、図2B、図2C、図3)

図 1	A	スライド開閉シート	図 2B	E	支柱+紐止め金具V
	B	保護用カバー		E'	支柱+紐止め金具V
	C	横木レール(長) 2本	図 2C	I	台座軸 2本
	D	横木レール(短) 2本		H	工具類袋
	R+R'	継ぎ手		N	台座用かぎレバー
	S	ハンドル・ネジ			
W	六角レンチ				
図 2A	F	傾斜柱 (右)	図 3	L	台座枠 2セット
	G	傾斜柱 (左)		M	台座安定金具



台座の組立てと配置 (図2C、図4、図5、図6参照)

1. 図2Cの工具類袋(H)から、組立て用の付属品を取りだします。
2. 図4の4本のビス(h)がそれぞれの穴に、入りやすいように台座枠(L)を持ち上げます。図4のように台座安定金具(M)を配置します。台座枠(L)に台座軸(I)を配置してビスでとめます。

重要 ビス(h)の頭が下方方向になるように差し込んで、台座調整ネジ(h')を差し込みます。台座にがたつきがないように、台座調整ネジ(h')のナットで高さを調整しながら水平にしてください。



台座のボルトは強くしめてください。

3. スライド開閉シートの各サイズに適当な間隔(Z)をとり、2つの台座枠(L)を配置します。(4ページ図6)
サイズ 250cm×369cm : 間隔(Z) 3915mm



2つの台座枠が平らな地面で、直線上に水平に配置されているかを確認してください。

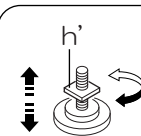
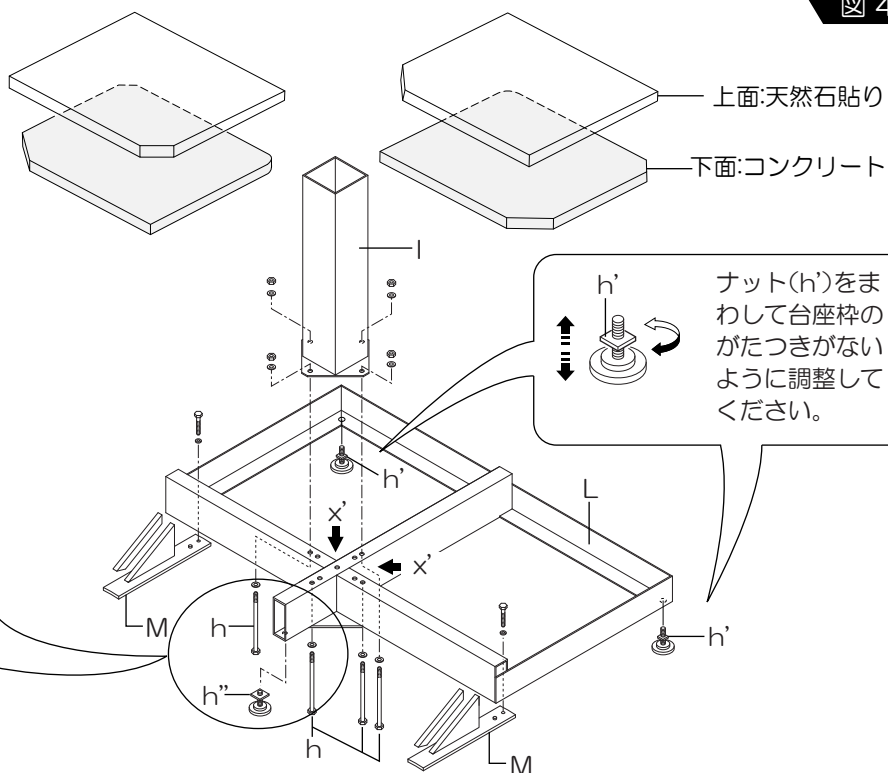
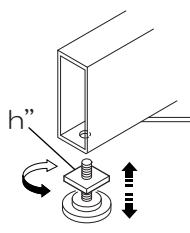
4. 台座用かぎレバー(N)を使い、台座枠に専用の石板(50cm×50cm)を最低4枚差し込み、それぞれの台座を安定させてください。(図5)

図4

※ 下面のコンクリートは角(面取りしていない)の部分、x'の位置になるように設置してください。

上面の天然石貼りは面取りした部分がx'の位置になるように設置してください。

ナット(h')をまわして台座枠のがたつきがないように調整してください。



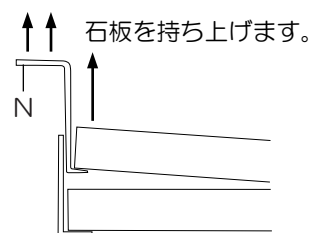
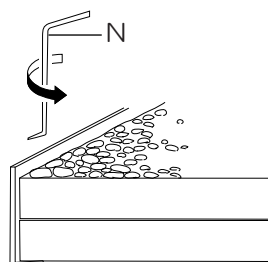
ナット(h')をまわして台座枠のがたつきがないように調整してください。

図5

石板を台座枠から外す場合



台座用かぎレバー(N)をご使用の際滑ることがありますので、取扱いにご注意ください。

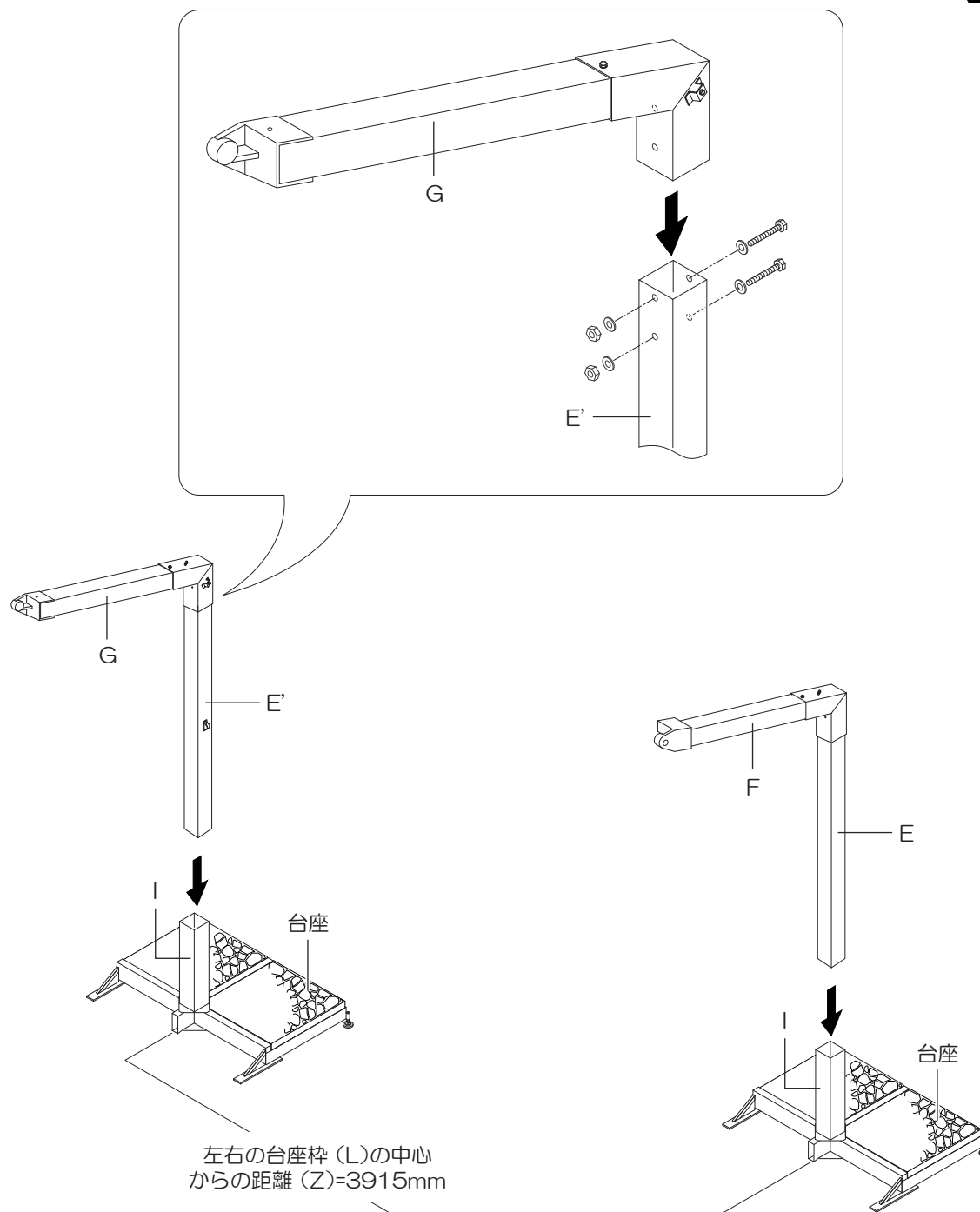


石板を持ち上げます。

支柱の組立て (図6参照)

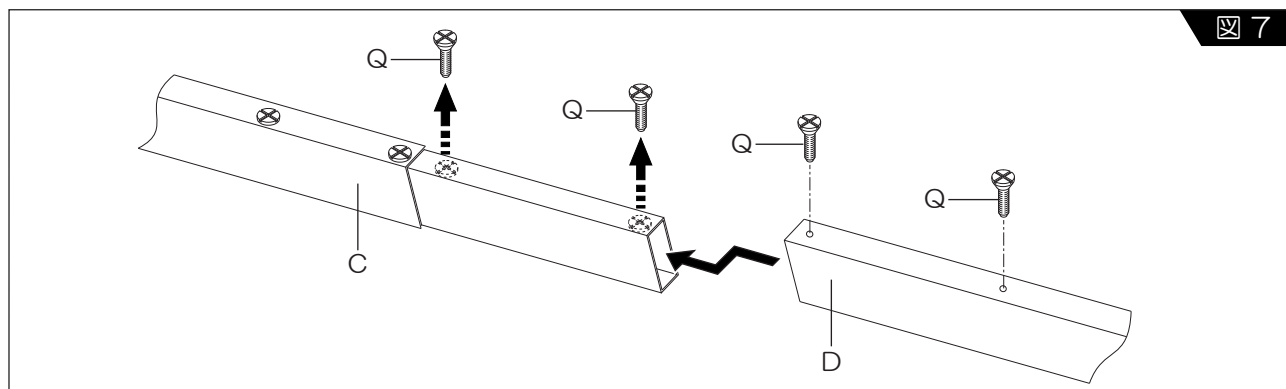
1. 傾斜柱 (F), (G) をそれぞれの支柱 (E), (E') に差し込みます。支柱 (E') と傾斜柱 (G)、支柱 (E) と 傾斜柱 (F) を組立てて、台座軸 (I) の配置に注意して差し込みます。(図 6)
2. 左右の台座には指定枚数のバラスト(石などのおもし)、または少なくとも重量が150kgになるように調整してください。

図 6

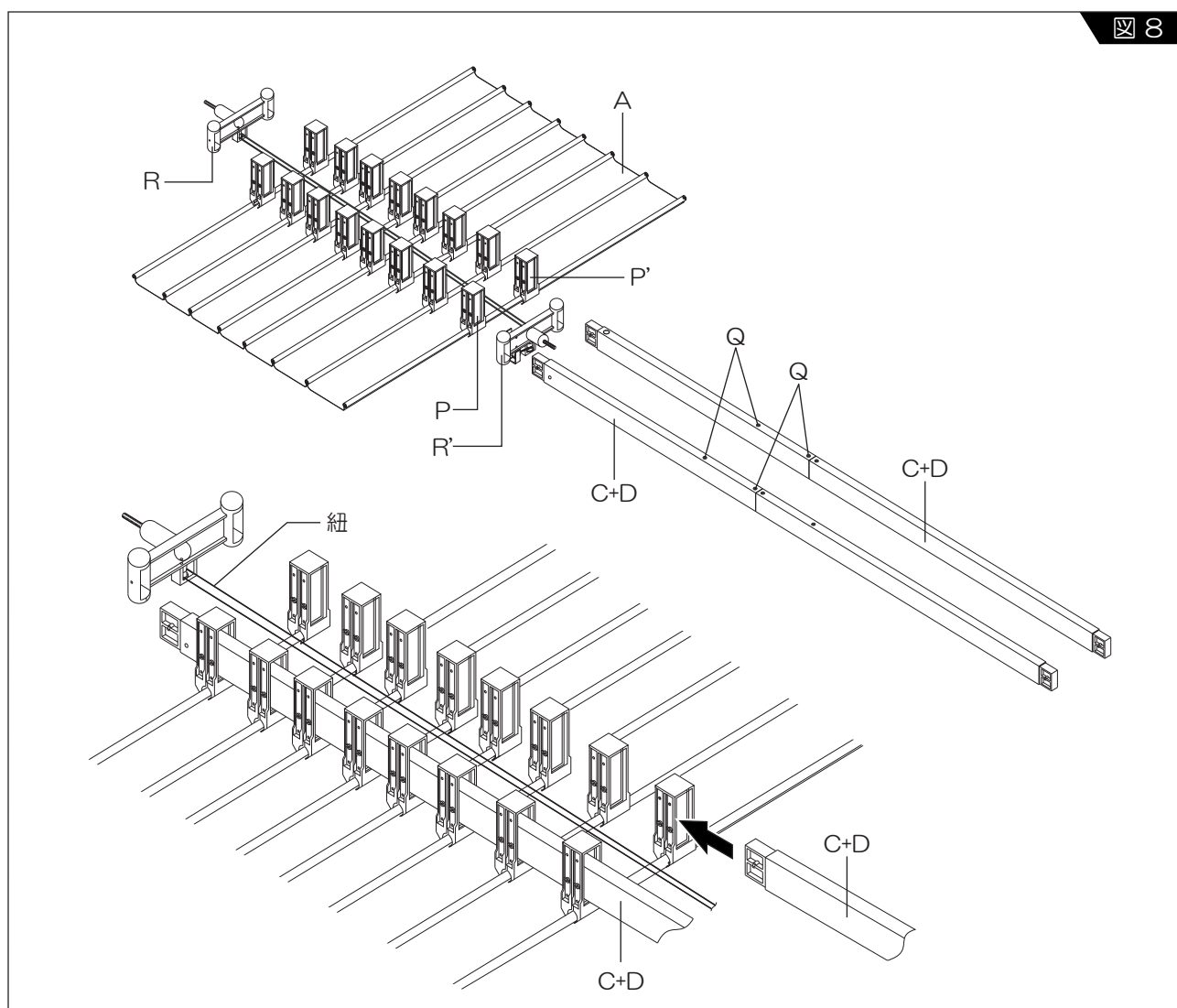


スライド開閉シートと横木レールの取付け ① (図7、図8参照)

1. 横木レール (C) にあらかじめ止めてある2本のビス (Q) をはずしてから、横木レール (C) と (D) をはめ込んでつなぎビス (Q) で止めます。(図7)

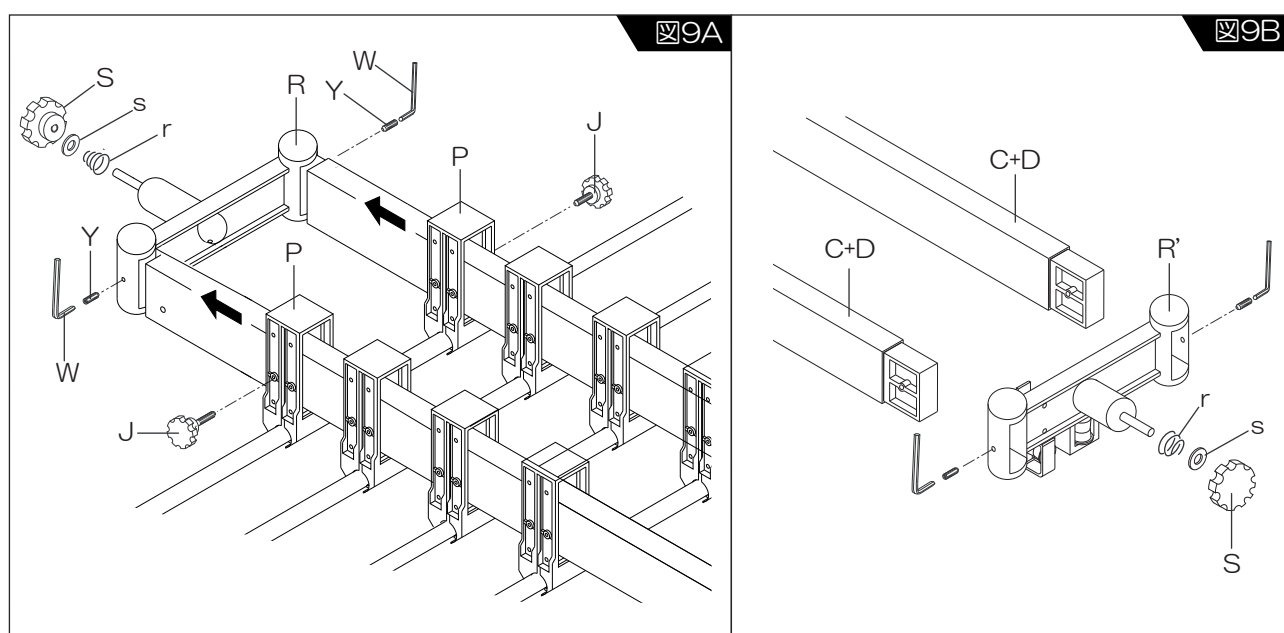


2. ガイド (P) を図8のように線上に並べて配置します。ビス (Q) で止めた側を上方向にして、横木レール (C+D) をガイド (P) に差し込む準備をします。この時紐どうしが、からまらないように注意してください。
3. 2本の横木レールをガイド (P), (P') にそれぞれ差し込みます。(図8)



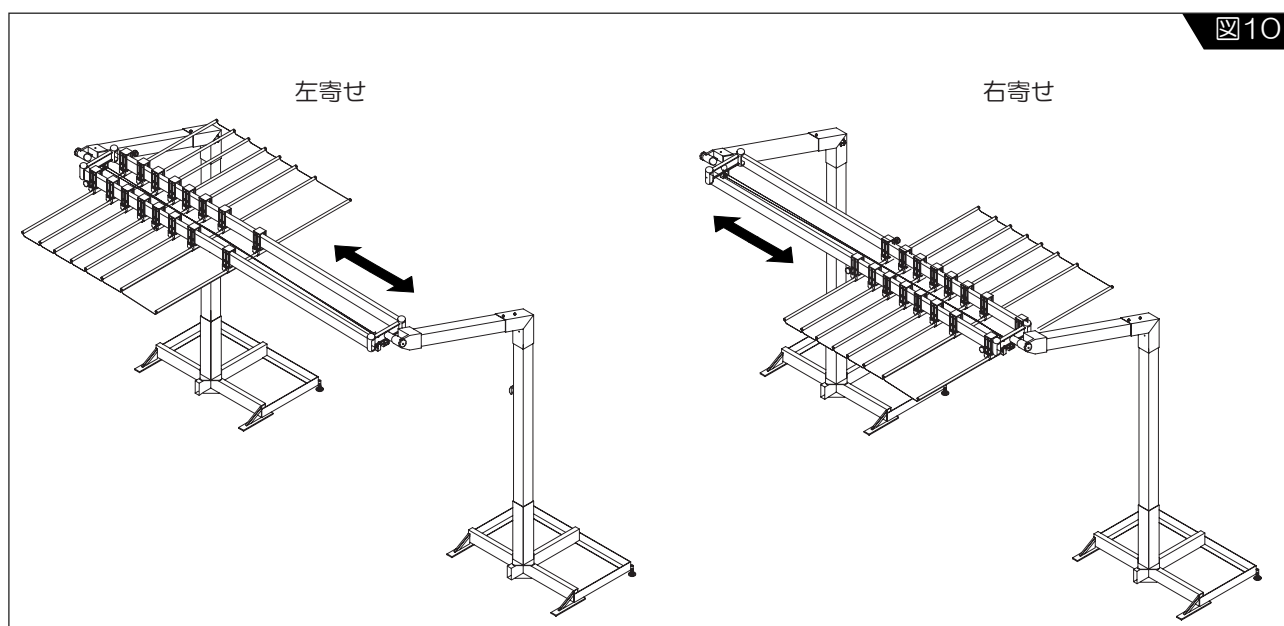
スライド開閉シートと横木レールの取付け② (図9A,図9B参照)

4. 継ぎ手の左右 (R),(R') にそれぞれ横木レール (C+D) を差し込み、六角レンチ (W) を使って取付けビス (Y) でしっかり固定します。 紐の先端が抜けないように注意してください。
5. ガイド (P) を継ぎ手 (R), (R') に向かって押しつけ、つまみボルト (J) 横木レール (C+D) の穴にさし込んで固定します。 ・
6. 左右の継ぎ手 (R),(R') からハンドル・ネジ (S) と座金 (s) を外します。 ただし、円錐パネ (r) はこの時には外さないようにしてください。



〈スライド開閉シートの収まりについて〉

つまみボルトで固定した方が、スライド開閉シートの収納側になります。
スライド開閉シートを反転させることで左右どちら側にも収納側を選ぶことが可能です。(図10)



スライド開閉シートの取付けと紐の通し方 (図11参照)



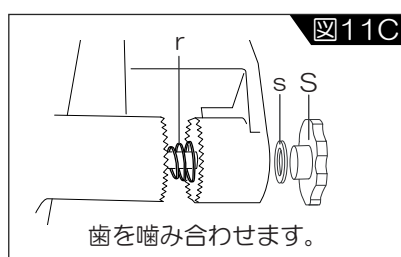
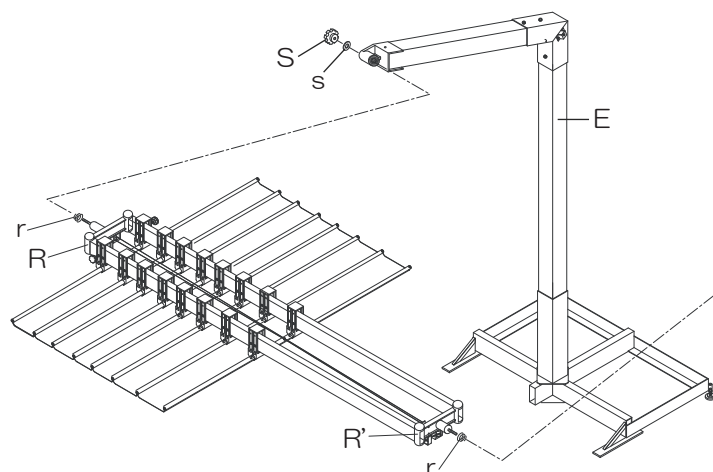
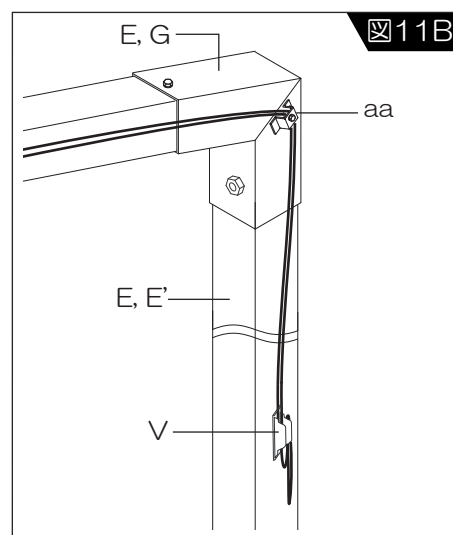
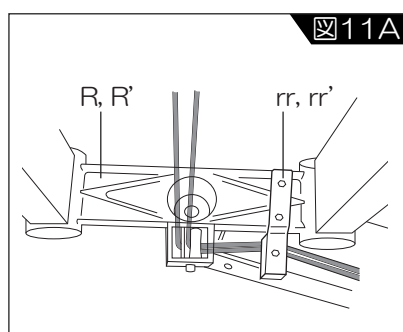
商品の破損を防ぐためにも、作業員2名で脚立2台を使用して作業を行ってください。



重要 スライド開閉シートを持ち上げる前に、左右の組み合わせを確認してください。スライド開閉シートの紐どうしが巻きつかないようにし、伸ばした状態でなめらかに動作するようにしてください。

1. 継ぎ手 (R'), (R) の円錐バネ (r) の位置を確認し、開閉シートを持ち上げます。
2. 継ぎ手 (R'), (R) をそれぞれの支柱に合わせ、座金 (s) を傾斜支柱の継ぎ手の間に配置し、ハンドル・ネジ (S) で締めて固定します。(図11)
継ぎ手の歯どうしがかみ合わない時は、円錐バネ (r) の位置を再確認してください。(図11C)
3. 図11Aを参考にして、継ぎ手 (R), (R') の滑車 (rr), (rr') に2本の紐を通します。
4. ガイド (aa) に2本の紐を通します。
5. スライド開閉シートを開く時も、閉じる時も紐の操作で行ってください。操作後は必ず紐止め金具 (V) に止めておいてください。(図11B)

図11

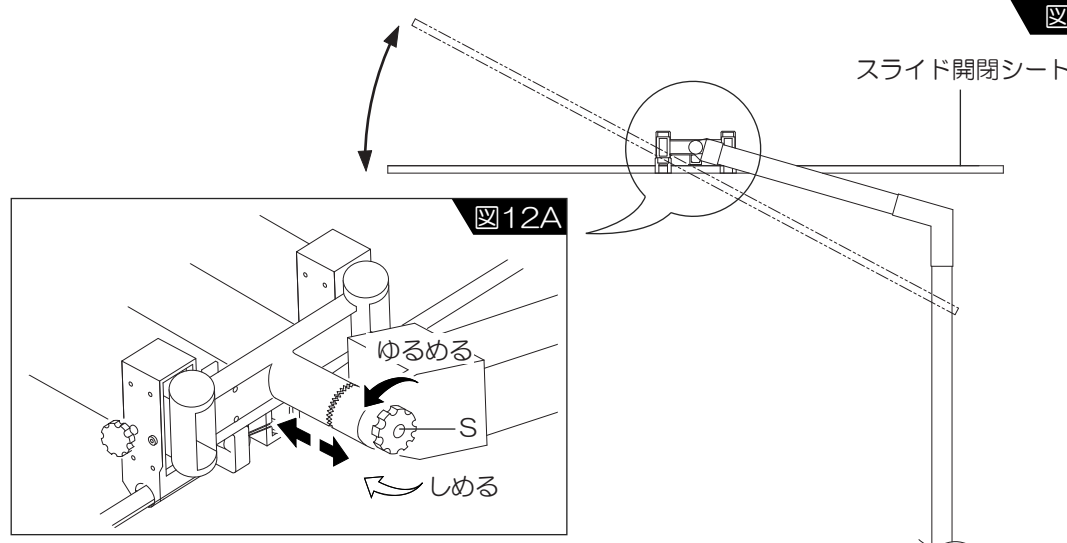


スライド開閉シートの取扱い (図12参照)

1. 傾斜角度の変更

- ・左右両側のハンドル・ネジ (S) をほぼ完全にゆるめます。
- ・継ぎ手 (R, R') の破損を防ぐため図12Aの矢印の方向へ継ぎ手を離します。ハンドル・ネジ (S) の方向へ傾斜柱を押し ますと、継ぎ手を離すことが容易になります。
- ・両手で開閉シートを上下させて傾斜角度を調整します。
- ・継ぎ手の歯がかみ合うように注意してハンドル・ネジ (S) をしめてください。

図12

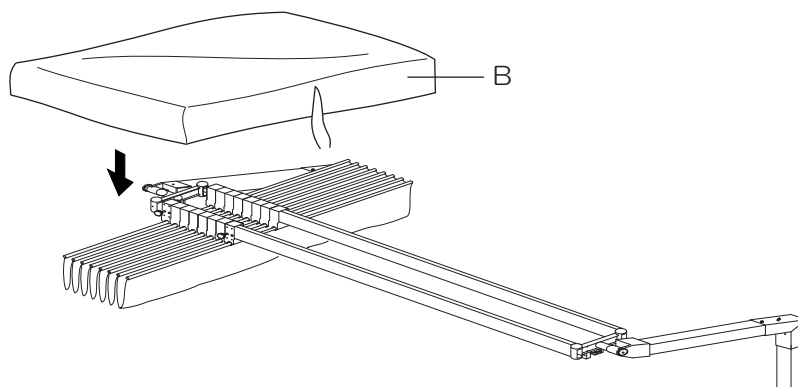


傾斜角度の変更を行った際は、かならず継ぎ手の歯がかみあうようにしっかりとめてください。

シート用保護カバーの取付け (図13参照)

1. スライド開閉シートを完全に閉じた後、紐を止め金具 (V) に止めます。図11B参照
2. 保護用カバー (B) をかぶせて、ファスナーを閉じます。

図13

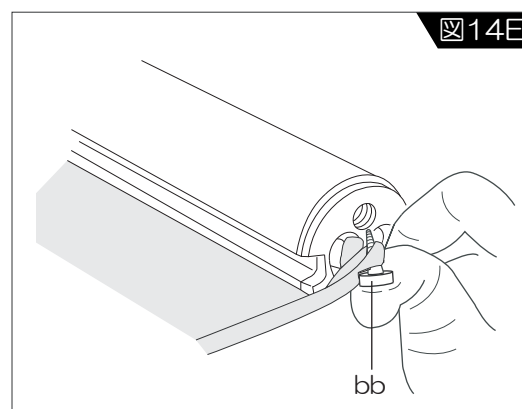
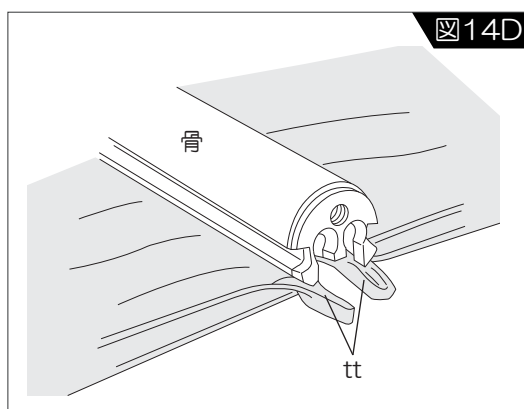
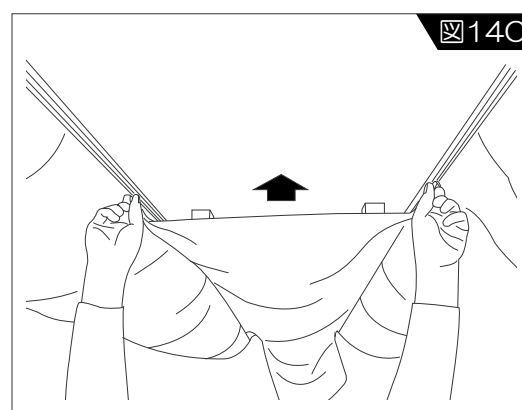
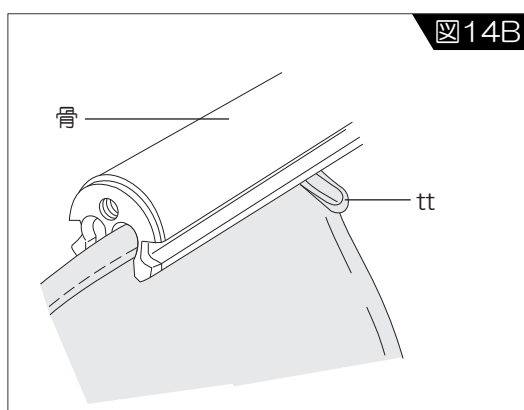
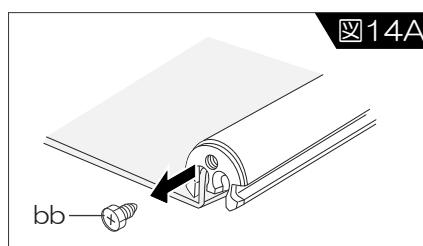


強風・雷雨・豪雨・雪の時、また夜間・「FREXY(フレクシー)」を常に確認できない状態の時には必ず保護用カバーをかけてください。

スライド開閉シートの個々の取外しと取付け (図14参照)

1. 両側面の骨の先端からビス (bb) を外します。(図14A)
2. シートの先端を骨の溝にはさみ込んで、外側の骨の全長の端まで完全に引きます。(図14B、図14C)
3. 各シートの・パネルのつまみ穴 (tt) にビスを差し込みます。(生地によってはこのつまみ穴がない場合がありますので、必ず行う作業ではありません)(図14D、図14E)
4. 骨の両先端にビス (bb) を取付けます。

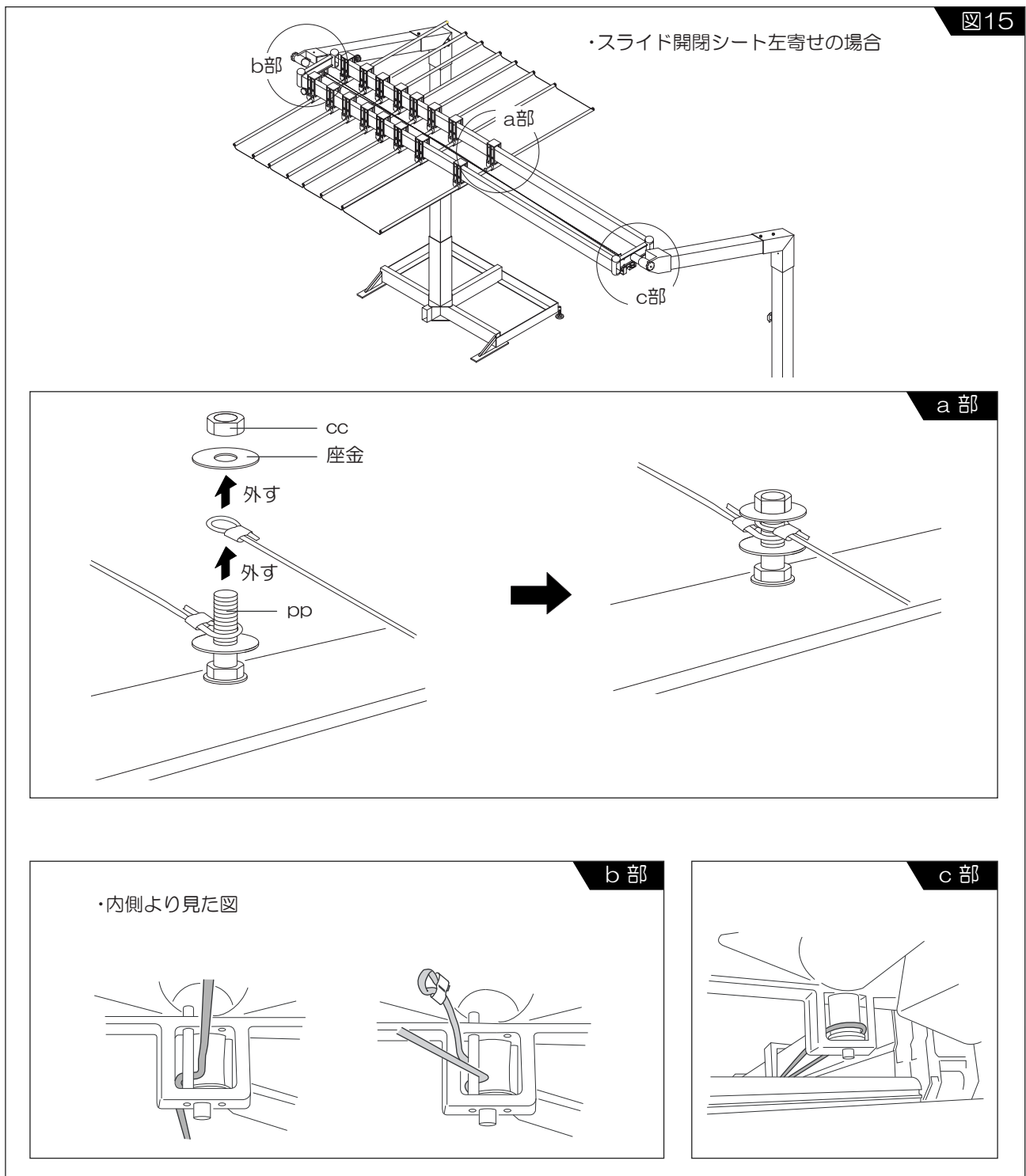
図14



完璧なスライドのためには、紐は平行に伸ばした状態で巻きつかないように確認をしてください。

スライド用紐の交換（図15参照）

1. ナット（cc）を外して交換したい紐を外します。新しい紐の先端の輪になっている部分をボルト（pp）にはめま
す。
2. 継ぎ手（R）の滑車に紐を通します。



＜メンテナンスと保護＞

シーートの洗濯

- ・ シートを本体から取外しぬるま湯(約30℃)で、デリケートな生地用の洗剤を使って柔らかい布で拭いてください。その後十分にすすいでから、良く乾かしてください。シートを長くお使いいただくためにも、強い日の下での作業は避けてください。
- ・ 工業用の洗濯機で洗う場合は、シートを本体から取外し、中性洗剤で約40℃以下の温度で、プログラム調整はデリケートを選んで行ってください。良くすすいで乾燥機やアイロンは避け、陰干しの自然乾燥で乾かしてください。

季節の終わりの撤去と保管方法

- ・ 商品を長くお使いいただく為に、季節の終わりには「フレクシー」を撤去して、乾燥した場所に保管することをお勧めします。撤去する際には、本体を濡らした布で拭いて汚れを落とし、さらに良く乾かしてください。(シーートの洗濯は上記をご覧ください。)



本体が完全な状態かを確認してください。 部品に破損がある場合には、購入先に必要な部品交換についてお問い合わせをしてください。

- ・ 上塗装がはげた場合は、補修をしてください。作動する部分にはシリコンスプレーを吹き付けて、滑りを良くしておいてください。



カビや錆による損傷を防ぐためにも「フレクシー」を濡れた状態や湿ったままでの保管は避けてください。

＜アフターサービスについて＞

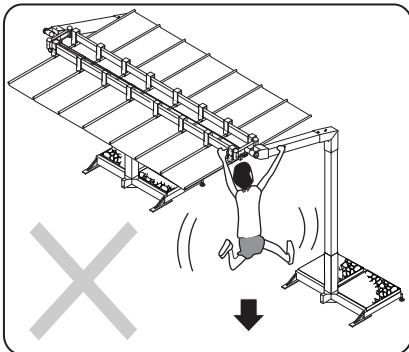
アフターサービスについて

- ・ アフターサービスのご依頼・ご相談はお買い求めの販売店までご連絡ください。
- ・ お取り扱いまたはお手入れが適当でない為に生じた補修、および部品交換などは有償となる場合がございますのでご了承ください。
- ・ 製品の改良の為予告なく仕様を変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

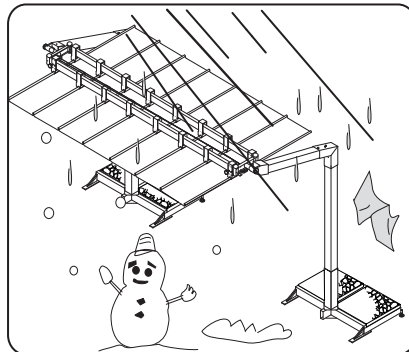
その他

- ・ この商品は正しく取付け・ご使用になりませんと、大きな対物・人身事故につながるおそれがあります。取付け・ご使用の際には、この説明書を良くお読みいただき正しく使用してください。
- ・ この説明書に従わずお客様の不注意による商品故障・事故につきましては、弊社は責任を負いかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

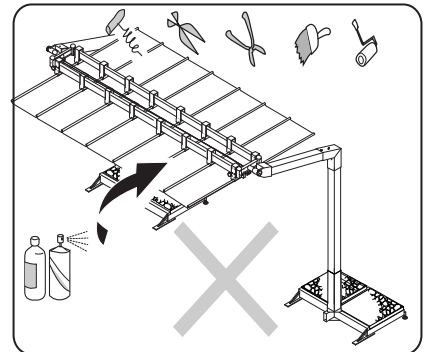
製品使用上の注意事項



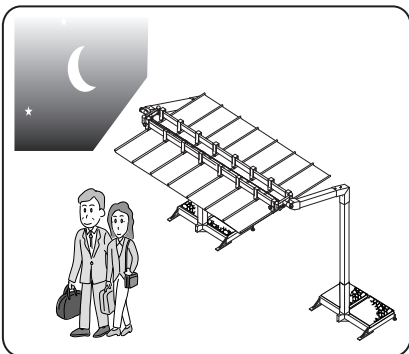
警告 柱やシートにぶら下がったり、本品に植木鉢等重いものを吊り下げないで下さい。



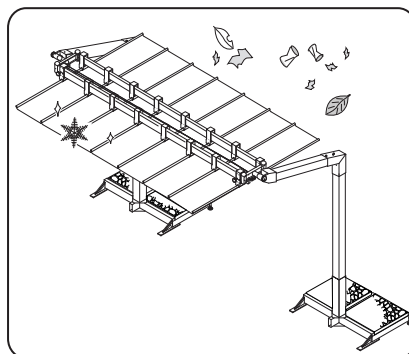
警告 強い風雨の時、積雪の際にはシートを収納して下さい。



警告 化学薬品は変色などの原因となりますので、洗い流してください。また独自の判断で本品の強度が落ちるような仕様の変更はしないでください。



警告 夜間や外出の際には、急な天候の変化により本品を破損する恐れがありますので、必ずシートを収納して下さい。



警告 シートが凍結している場合は、解けるまで待ってから操作して下さい。また、ゴミ等がある場合は、取り除いて下さい。

警告 本製品を移動させる際は、台座から取り外してから移動させて下さい。

■ お問い合わせは